

令和4年度
北しりべし廃棄物処理広域連合温暖化対策推進実行計画
推進状況

1. 実行計画の削減目標

2013（平成25）年度を基準年度として、計画期間の最終年度である2030（令和12）年度の二酸化炭素排出量を14%削減する。
（計画期間：2018（平成30）～2030（令和12）年度）

2. 令和4年度 温室効果ガス排出量実績

表1. 温室効果ガス排出状況

温室効果ガス	調査項目	平成25年度 (トン-CO ₂)	令和4年度 (トン-CO ₂)	増減量 (トン-CO ₂)	増減率 (%)	
二酸化炭素	廃棄物焼却	19,997	16,218	▲ 3,779	▲ 18.9	
	燃料消費	灯油	1,053	194	▲ 859	▲ 81.6
		ガソリン	3.4	1.4	▲ 1.9	▲ 57.0
		軽油	40	36	▲ 5	▲ 11.6
	購入電力	389	300	▲ 88	▲ 22.7	
	売却電力	▲ 2,170	▲ 1,611	559	25.8	
	小計	19,312	15,139	▲ 4,174	▲ 21.6	
メタン	廃棄物焼却	1.0	0.8	▲ 0.2	▲ 18.9	
	自動車使用	0.0076	0.0058	▲ 0.0017	▲ 22.9	
	小計	1.0	0.8	▲ 0.2	▲ 18.9	
一酸化二窒素	廃棄物焼却	725	588	▲ 137	▲ 18.9	
	自動車使用	0.18	0.12	▲ 0.06	▲ 32.3	
	小計	725	588	▲ 137	▲ 18.9	
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコン	0.086	0.086	0	0.0	
	小計	0.086	0.086	0	0.0	
温室効果ガス排出量合計		20,039	15,728	▲ 4,311	▲ 21.5	

※端数処理により割合・合計が合わない場合がある。

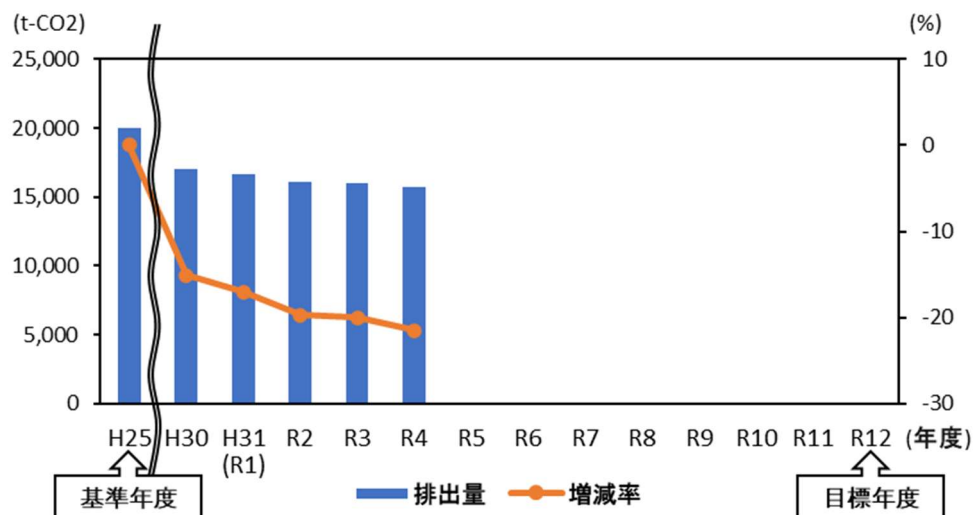


図 1. 温室効果ガス総排出量の推移

3. 結果の評価

令和 4 年度における温室効果ガス総排出量は 15,728 トンで、基準年度の平成 25 年度と比較すると 4,311 トン減少し、増減率は 21.5% 減であった。

調査項目別では、電力の売却に伴う二酸化炭素排出量は増加しているが、その他の項目では減少した。(表 1)

温室効果ガス総排出量については、目標年度に向けて順調に減少している。(図 1)